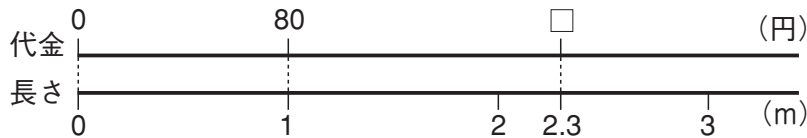




◆整数×小数の計算

1m のねだんが 80 円のリボンがあります。
このリボン 2.3m の代金は何円でしょうか。

- ① リボン 2.3m の代金は、どんな式で求められるでしょうか。



リボンの長さが 2m なら
80 × 2 の式になるね。



式 80×2.3

- ② リボンの長さが 23m の場合をもとにして、リボン 2.3m の代金を求めましょう。

・リボンの長さが 2.3m の **10** 倍の 23m になると、代金も **10** 倍になります。

整数どうしの 80×23 なら
答えが求められるけど…。

	1m のねだん	×	リボンの長さ	=	リボンの代金
2.3m の代金	80		2.3		?
			↓ 10 倍		↓ 10 倍
23m の代金	80	×	23	=	1840



		8	0
	×	2	3
		2	4
		0	
1	6	0	
1	8	4	0

・リボン 2.3m の代金は、23m の代金の $\frac{1}{10}$ です。

$$\underbrace{80 \times 2.3}_{2.3\text{m の代金}} = \underbrace{(80 \times 23)}_{23\text{m の代金}} \div 10$$

$$= \mathbf{184} \quad \text{答え} \quad \mathbf{184 \text{ 円}}$$

整数どうしの計算にする
ために倍にした分だけ
わってやればいいんだね。



0.1m の代金を $80 \div 10$ で求めて、
それを 23 倍するしかたもあるよ。



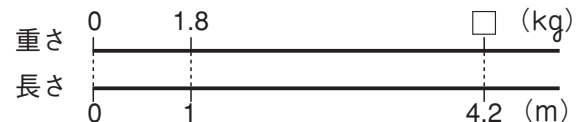
◆小数×小数の計算

1m の重さが 1.8kg のパイプがあります。
このパイプ 4.2m の重さは何 kg でしょうか。

① 4.2m の重さは、どんな式で求められるでしょうか。

式

$$1.8 \times 4.2$$



② 計算のしかたを考えましょう。

- ・かけられる数とかける数をそれぞれ 10 倍すると、
(10 × 10) 倍で、積は **100** 倍になります。

$$\begin{array}{ccc} 1.8 \times 4.2 = & ? & \\ \downarrow 10 \text{ 倍} & \downarrow 10 \text{ 倍} & \downarrow 100 \text{ 倍} \\ 18 \times 42 = & 756 & \end{array}$$

- ・1.8 × 4.2 の積は、18 × 42 の積を **100** でわれば求められます。

$$\begin{array}{l} 1.8 \times 4.2 = 18 \times 42 \div 100 \\ = 7.56 \end{array}$$

答え

$$7.56 \text{ kg}$$

整数どうしの 18 × 42 なら
答えが求められるけど…。



	1	8
×	4	2
	3	6
7	2	
7	5	6

整数どうしの計算にする
ために倍にした分だけ
わってやればいいんだね。



③ 1.8 × 4.2 の筆算のしかたを考えましょう。

- ・1.8 × 4.2 の筆算は、18 × 42 の筆算をして、かけられる数とかける数を
倍にした分だけ積をわります。

$$\begin{array}{r} 1.8 \\ \times 4.2 \\ \hline 36 \\ 72 \\ \hline 7.56 \end{array} \quad \begin{array}{c} \xrightarrow{10 \text{ 倍}} \\ \xrightarrow{10 \text{ 倍}} \\ \xleftarrow{\frac{1}{100}} \end{array} \quad \begin{array}{r} 18 \\ \times 42 \\ \hline 36 \\ 72 \\ \hline 756 \end{array}$$

756 を $\frac{1}{100}$ にすると
位が 2 けた下がるね。



◆小数のかけ算の筆算

① 2.8×3.2

	2	8		1けた
×	3	2		1けた
	5	6		
	8	4		
	8	9	6	2けた

- ① 整数どうしのかけ算にするために、かけられる数を10倍する。〈位を1けた上げる〉
- ② かける数も10倍する。〈位を1けた上げる〉
- ③ (10×10) 倍したので、積を100でわる。〈位を2けた下げる〉

② 1.27×3.7

	1	2	7	2けた	
×		3	7	1けた	
	8	8	9		
	3	8	1		
	4	6	9	9	3けた

整数×整数の筆算と同じように計算して、積の小数点をうつ位置に気をつければいいね。



③ 0.83×0.29

		0	8	3	2けた		
	×	0	2	9	2けた		
			7	4	7		
		1	6	6			
		0	2	4	0	7	4けた

積の小数点は、積の小数部分のけた数が、かけられる数とかける数の小数部分のけた数の和になるようにうつよ。



④ 2.65×1.8

	2	6	5	2けた	
×		1	8	1けた	
	2	1	2	0	
	2	6	5		
	4	7	7	0	3けた

積の下の方が0になるとき、小数点をうつ位置をまちがえないように気をつけよう。

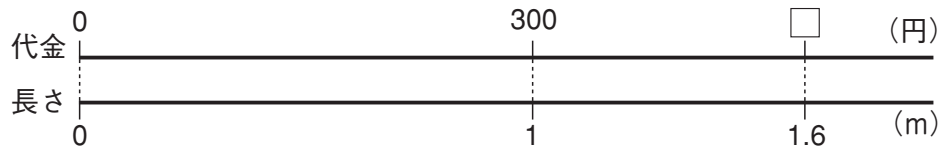




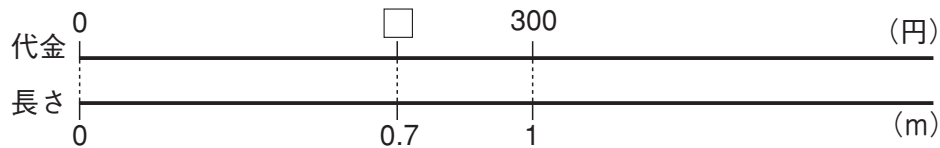
◆積の大きさ

1m のねだんが 300 円のリボンがあります。このリボン 1.6m の代金と 0.7m の代金を求めて、1m のねだんと比べましょう。

- ① それぞれの代金を求めて、 にあてはまる不等号を書きましょう。



1.6m の代金 300×1.6 300



0.7m の代金 300×0.7 300

- ② かけ算では、1 より小さい数をかけると、積はかけられる数より
なります。

小さく



かけられる数より積が小さくなるのはどれでしょうか。

- ㊐ 340×2.4 ㊑ 2.5×1.7 ㊒ 8.6×0.3 ㊓ 0.17×1.8
 ㊔ 5.14×6.2 ㊕ 8.37×1.46 ㊖ 2.5×7.91 ㊗ 0.04×0.5

答え

㊒、㊗